

令和3年度 冬季一般入学者選抜試験（3年コース）

小論文試験問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで、開かないこと。
2. この問題冊子は8枚綴り、問題は片面に印刷されている。
3. この問題冊子は持ち帰ること。
4. 解答用紙は必ず提出すること。
5. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではない。また、解答者の思想・信条を問うものではない。

解答記入上の注意

1. 解答は、黒、青、ブルーブラックのボールペン（プラスチック製消しゴム等で消せないもの）又は万年筆で記入しなさい。
2. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入しなさい。
3. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とする。ただし、修正液・消しゴムなどを使用してはならない。
4. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしなさい。
5. 読みやすい答案となるよう心掛けなさい。

問 題

別紙の資料は、日本経済新聞社編『限界都市』（日本経済新聞出版社、2019年）から抜粋した文章である。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。（〔問1〕と〔問2〕の配点割合は、1：1）

〔問1〕

下線部①②③について、資料中の情報を根拠にして、以下の小問に答えなさい。

（小問1） 下線部①について、「内」と「外」の意味を説明しつつ、何が問題として想定されているのか、合わせて300字以内で説明しなさい。

（小問2） 下線部②では、一定の問題が生じたことが示される。それはどのような問題であり、何が原因であると考えられるか、合わせて300字以内で説明しなさい。

（小問3） 下線部③について、そこでいう「副作用」とは何であり、また「緩和する手立て」とは具体的にどのようなものだと考えられるか、合わせて150字以内で説明しなさい。

〔問2〕

富山市および和歌山市とも、2017年（平成29年）3月に「立地適正化計画」を策定している。資料から読み取れる限りにおいて、(i)「市街化調整区域」および「誘導区域」を設ける目的について説明したうえで、(ii)「市街化調整区域」をめぐり両市が抱える問題点の共通性や類似性を指摘し、(iii)それが「誘導区域」の設定とどのように関連しているかを、1000字以内で説明しなさい。

【解答作成上の留意点】

- ・本問は、資料外の法律や条例の知識を問うものではない。
- ・解答においては、必ずしも資料中の文言の抜粋・引用を求めているものではない。
- ・〔問1〕の各小問及び〔問2〕は、それぞれ独立のものとなし採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことで繰り返して記述しなさい。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

【出題趣旨】

本問は、地方の中核市における都市計画をめぐる状況を素材とするものである。〔問1〕は、文章中の語句を説明させることを通じて、問題を分析・整理する能力を問う問題である。それぞれ、前後の文脈に照らして対象となる語句に込められた含意を読み解くことが求められる。〔問2〕は、文章全体の構造を理解したうえで、設定された課題に沿って情報を整理し、論理的に思考する能力及びそれらを長い文章のなかで的確に表現する能力を問う問題である。2つの事例を比べて統合的かつ説得的に表現することが求められる。また文章中に与えられる情報は、前後関係が不鮮明である場合や、表現において類似しながら微妙な違いを込めて提示されている場合があるが、それらの場合も含めて、鍵となる要素に文章全体のなかで適切な位置づけを与えていくことが適切な表現の前提として求められる。